

京都のみどりを語る

山川草木悉皆有仏性の思想と三山森林の危機

2013年8月17日(土)

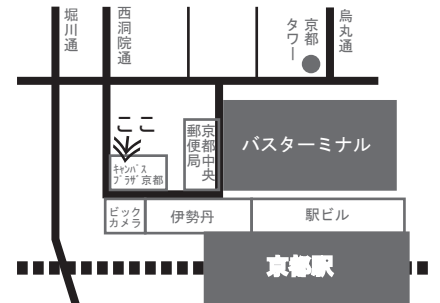
13:30 ~ 16:30 (開場 13:10)

キャンパスプラザ京都 第3講義室(4階)

事前申込み不要・参加費無料

高田研一(森林再生支援センター専門委員)

福家俊彦氏(三井寺(園城寺)執事長)、長尾憲佑氏(常寂光寺住職) 他



みどり豊かに見える京都三山。しかし、実際には、市街地から見える緑豊かな様子とは違う景色に変わり果てた場所が拡がりつつあります。マツノザイセンチュウによりアカマツが枯れた後、最近では毎年のようにカシノナガキクイムシによりコナラなどが枯れています。真夏に紅葉?という光景は、この被害によるものです。アカマツやコナラなどが枯れた後に、後継となる樹木の实生や若木が成長するはずですが、シカがこれらを食い尽くし、樹木の更新が妨げられています。このような場所では、土壌表層に堆積した落葉層もシカが食い、さらに土壌も流出して、裸地化が進行しつつあります。



平成23年に策定された「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」にもとづき、京都三山では、100年後を見据えた森林景観づくりが進められようとしています。本シンポジウムでは、京都三山の森林景観づくりに携わる演者が未来の京都のみどりについて語ります。多くの皆さんに、京都のみどりの現在と未来を知っていただき、共に、京都のみどりについて考えたいと思います。

また、このシンポジウム開催に先立ち、実際の森づくりの現場を計画者の説明を聞きながら歩き、意見交換を行うエクスカージョンも開催します。

エクスカージョン

京都のもりを見る

2013年8月3日(土)

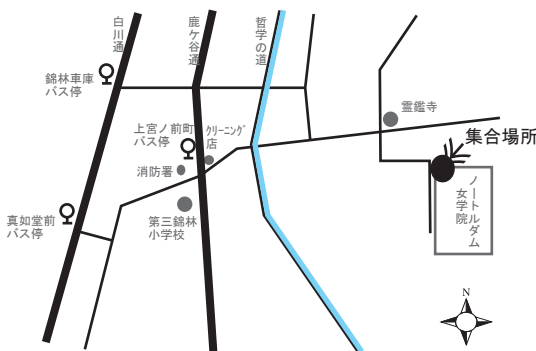
10:00 ノートルダム女学院前集合・出発
(左京区鹿ヶ谷桜谷町)

12:30頃 現地解散

12:30-16:00 オプショナルツアー
「京都の遺跡のある森を巡る」

事前申込み不要。時間になりましたら出発します。雨天決行
参加費 CRRN会員 無料

会員外 100円 ※当日お支払いください



公共交通機関をご利用ください

上宮ノ前町バス停より 徒歩約7分
錦林車庫前バス停より 徒歩約12分

- ★山歩きができる格好でご参加ください
- ★オプショナルツアーにご参加の方は昼食をご持参ください
- ★当日緊急連絡先 090-7769-4127 (松井)